

研究情報詳細

【氏名】

新井 勇治(あらい ゆうじ)

ARAI Yuji

【所属(職位)】

造形学部建築学科(教授)

【取得学位】

修士(工学)

【略歴】

1993年3月 法政大学大学院工学研究科建設工学専攻修士課程 修了
1993年4月 法政大学大学院工学研究科建設工学専攻博士課程 入学
1993年9月 講談社・野間アジア・アフリカ奨学金留学生として、シリア・アラブ共和国のダマスカス・フランス・アラブ研究所に留学 (至 1996年9月)
1997年4月 日本学術振興会 特別研究員(DC) (至 1999年3月)
1999年6月 法政大学大学院工学研究科建設工学専攻博士課程 単位取得満期退学
1999年7月 日本学術振興会 特別研究員(PD) (至 2002年3月)
2002年4月 国士舘大学 イラク古代文化研究所 共同研究員 (至 2021年3月)
2002年4月 工学院大学専門学校 非常勤講師(至 2005年3月)
2005年4月 愛知産業大学造形学部建築学科 助教授 (至 2007年3月)
2007年4月 愛知産業大学造形学部建築学科 准教授(職名廃止による変更) (至 2014年3月)
2013年4月 愛知産業大学大学院造形学研究科建築学専攻 准教授 (至 2014年3月)
2014年4月 愛知産業大学造形学部建築学科 教授 (現在に至る)
2014年4月 愛知産業大学大学院造形学研究科建築学専攻 教授 (現在に至る)
2014年4月 愛知産業大学造形学部建築学科 建築学科長 (至 2020年3月)
2020年4月 愛知産業大学造形学部 造形学部長 (現在に至る)
2020年5月 愛知産業大学大学院造形学研究科 大学院研究科長 (現在に至る)

【主な担当科目】

建築概論、建築の歴史、都市と移動手段のデザイン、建築時事、都市設計論

【主な研究分野】

イスラーム建築史・都市史、建築史、建築意匠

【所属学会等】

日本建築学会、地中海学会、日本中東学会

【主な研究テーマ】

1. 中東・イスラーム地域における旧市街(メディナ)の構成や建築のあり方の研究
2. イスラーム建築の形態、使われ方、装飾についての研究
3. 中東地域の伝統的な住居における、その形態、装飾、住まい方についての研究

【主な研究・発表等業績】

1. 『地中海を旅する62章』、共著者:松原康介・新井勇治・ほか多数、明石書店、2019年
2. 『シリア・レバノンを知るための64章』、共著者:黒木英充・新井勇治・ほか多数、明石書店、2013年
3. 『イスラーム建築がおもしろい!』、共著者:深見奈緒子・新井勇治・穴戸克実ほか(5名のうち2番目)、彰国社、2010年
4. 「西アジアの伝統的住居に関する研究(その1)ダマスカスにおける中庭型住居の環境共生機能について」、
鹿児島県立短期大学紀要第61号、共著者:新井勇治・穴戸克実、査読無、pp.61-72、2010年
5. 「西アジアの伝統的住居に関する研究(その2)サフランボルにおける住居の環境共生機能について」、
鹿児島県立短期大学紀要第62号、共著者:新井勇治・穴戸克実、査読無、pp.31-45、2011年

【社会的活動】

1. 地中海学会: 常任委員 (2015年7月~2019年6月)
2. JICA: シリア国ダマスカス首都圏都市計画・管理能力向上プロジェクト運営調査員 (2010年10月~2011年12月)
3. 岡崎市役所: 空家対策協議会委員(2019年4月~)、建築審査会委員(2019年10月~)、住生活基本計画策定会委員(2020年4月~)、特別職報酬等審議会委員(2021年11月~)

【その他の活動】

1. 科研:基盤研究(C)「西アジアの伝統的住居における環境共生機能からみた継承と変容に関する研究」(課題番号: 21510275)
2. 科研:基盤研究(C)「中東地域の伝統的な建築における半戸外空間と中庭の機能に関する研究」(課題番号: 20410855)